

安全データシート

作成日: 2017 年 08 月 17 日

SDS 番号: J-1041

第 1 版

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:	マイヤーヘマトキシリン溶液
製品コード:	415081: マイヤーヘマトキシリン溶液; 12 ml x 1 715081: マイヤーヘマトキシリン溶液(ヒストステイナー用); 12 ml x 3
供給者の会社名:	株式会社ニチレイバイオサイエンス
住所:	東京都中央区築地 6-19-20
担当部門:	品質保証部
電話番号:	81-3-3248-2207
FAX 番号:	81-3-3248-2243
メールアドレス:	n1060x005@nichirei.co.jp
緊急連絡電話番号:	81-3-3248-2207
推奨用途及び使用上の制限:	免疫組織化学染色用

2. 危険有害性の要約

GHS 分類:

物理化学的危険性
健康有害性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分 1
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分 1
生殖細胞変異原性 区分 1B
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分 2 中枢神経
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分 2 心臓
特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分 2 中枢神経
特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分 2 肝臓

環境有害性

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHS ラベル要素

絵表示:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
遺伝性疾患のおそれ
中枢神経系、心臓の障害のおそれ
長期にわたる又は反復ばく露による中枢神経の障害のおそれ

注意書き

安全対策:

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

<p>と。</p> <p>取扱い後は手をよく洗うこと。</p> <p>この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。</p> <p>保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。</p> <p>飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。</p> <p>皮膚に付着した場合：多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。</p> <p>吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。</p> <p>眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。</p> <p>ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。</p> <p>ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けること。</p> <p>ただちに医師に連絡すること。</p> <p>気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。</p> <p>汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。</p>	<p>応急措置：</p>
<p>保管：</p> <p>廃棄：</p>	<p>施錠して保管すること。</p> <p>内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること</p>

3. 組成及び成分情報

化学物質の区別：混合物

化学名 又は一般名	濃度又は 濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法	安衛法	
ヘマトキシリン	≥0.15%	C16H14O6	5-3664	-	517-28-2
ヨウ素酸ナトリウム	≥0.03%	HIO3.Na	1-443	-	7681-55-2
カリウム明礬	≥5%	AlKO8S2.12 H2O	既存 1-25, 既存 1-454	-	7784-24-9
抱水クロラール	≥5%	C2H3Cl3O2	-	2-(8)-189 (2-(8)-375)	302-17-0
クエン酸	≥0.1%	C6H8O7	2-1318	-	77-92-9
水	89.72%>	H2O	-	-	-

分類に寄与する不純物及び安定化添加物：情報なし
本品は危険物を含んでいない

4. 応急措置

暴露措置による応急処置

<p>吸入した場合</p>	<p>ただちに医師に連絡すること。</p> <p>空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。</p>
<p>皮膚に付着した場合</p>	<p>皮膚を流水、シャワーで洗うこと。</p> <p>ただちに医師に連絡すること。</p>
<p>眼に入った場合</p>	<p>水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。</p> <p>ただちに医師に連絡すること。</p>

飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 ただちに医師に連絡すること。
5. 火災時の措置	
消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
特有の危険有害性	不燃性であり、それ自身は燃えないが、加熱されると分解して、腐食性及び/又は毒性の煙霧を発生するおそれがある。 火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。
消火を行う者の保護	適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 密閉された場所に立入る前に換気する。 全ての着火源を取り除く。
環境に対する注意事項	環境中に放出してはならない。
封じ込め及び浄化方法・機材	水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。
二次災害の防止策	プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。
7. 取扱及び保管上の注意	
取扱	
技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項	取扱後は手をよく洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 適切な保護手袋を着用すること 適切な保護眼鏡、保護面を着用すること。 使用前に取扱説明書を入手すること。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 適切な個人用保護具を使用すること。 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
接触回避	『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管	
安全な保管条件	全ての最新の規則及び基準に従って保管および取り扱いを行うこと。
安全な容器包装材料	消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産衛学会	ACGIH
ヘマトキシリン	未設定	未設定	未設定
ヨウ素酸ナトリウム	未設定	未設定	未設定
カリウム明礬	未設定	未設定	未設定
抱水クロラール	未設定	未設定	未設定
クエン酸	未設定	未設定	未設定
水	未設定	未設定	未設定

設備対策

局所排気装置を設置すること。
 暴露上限を遵守させること。
 作業区域には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具

呼吸器の保護具

空中汚染水準が推奨される暴露限界を超える場合、暴露水準を抑えるのに適切な呼吸器保護具を使用すること。
 仕様に適切な、特別な呼吸保護区については、健康及び安全の専門家に相談する事。

手の保護具

適切な耐薬品手袋を着用すること。

眼の保護具

眼の保護具を着用すること。
 保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)

皮膚及び身体の保護具

適切な耐薬品保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理学的性状

形状	液体
色	濃紫色
臭い	無臭
臭いのしきい(閾)値	データなし
pH	約 2.3-2.5
融点・凝固点	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	100°C
引火点	データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	データなし
燃焼性(固体、気体)	データなし
燃焼又は爆発範囲	下限 データなし 上限 データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度(空気=1)	データなし
比重(密度)	1.05
溶解度	データなし
n-オクタノール／水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粘度(粘性率)	データなし

10. 安定性及び反応性		
反応性		通常の条件では危険有害な反応は起こらない。
化学的安定性		基準温度及び基準圧力下において安定である。
危険有害反応可能性		加熱すると分解し、塩化水素を含む有毒で腐食性のヒュームを生じる。強塩基と反応し、クロロホルムを生じる。
避けるべき条件		加熱
混触危険物質		強塩基
有害な分解生成物		塩化水素を含む有毒で腐食性のヒューム。クロロホルム。
11. 有害性情報		
急性毒性	経口	成分の急性毒性値は抱水クロラール 480mg/kg、ヨウ素酸ナトリウム 505 mg/kg であり、混合物の急性毒性値が 9,545mg/kg のため、区分外に該当する。
	経皮	既知の成分が全て区分外なので区分外に該当する。
	吸入: 気体	気体では無いので分類対象外
	吸入: 蒸気	既知の成分が全て区分外だが、毒性未知成分が 5.03%以上なので、区分外から分類できないとした。
	吸入: 粉じん、ミスト	既知の成分が全て区分外だが、毒性未知成分が 5.03%以上なので、区分外から分類できないとした。
皮膚腐食性及び刺激性		抱水クロラールが区分 1 で、成分合計が 5% であり、濃度限界(5%)以上のため、区分 1 に該当する。危険有害性情報:H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷に該当する。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		抱水クロラールが眼区分 1 の成分合計が 5% であり、濃度限界(3%)以上のため、区分 1 に該当する。危険有害性情報:H318 重篤な眼の損傷に該当する。
呼吸器感作性		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当するが、毒性未知成分が 5.03%以上なので、区分外から分類できないに変更。
皮膚感作性		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当するが、毒性未知成分が 5.03%以上なので、区分外から分類できないに変更。
生殖細胞変異原性		抱水クロラールが 5% \geq 0.1%のため、区分 1B に該当する。危険有害性情報:H340 遺伝性疾患のおそれに該当する。
発がん性		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当するが、毒性未知成分が 5.03%以上なので、区分外から分類できないに変更。

生殖毒性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当する。	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	抱水クロラールが区分 1 で、5% \geq 1%のため、区分 2(中枢神経系)及び区分 2(心臓)に該当する。	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	抱水クロラールが区分 1 で、5% \geq 1%のため、区分 2(中枢神経系)及び区分 2(肝臓)に該当する。	
吸引性呼吸器有害性	データがなく分類できない。	
12. 環境影響情報		
水生環境有害性(急性)	成分の毒性値は抱水クロラールで区分 3(甲殻類:54.8 mg/l)であり、区分 3 が 0-0.03%となり、濃度限界(25%)未満のため区分外に該当する。	
水生環境有害性(長期間)	成分の毒性値は 0.03%で濃度限界(25%)未満のため、区分外に該当する	
オゾン層への有害性	データ不足のため分類できない。	
13. 廃棄上の注意		
残余廃棄物	<p>廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。</p> <p>都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。</p> <p>廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。</p> <p>特別管理産業廃棄物のため、廃棄においては特に「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の特別管理産業廃棄物処理基準に従うこと。</p>	
汚染容器及び包装	<p>容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。</p> <p>空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。</p>	
14. 輸送上の注意		
本品は危険物に該当しない。		
国際規則	Regulatory Information by Sea	Complied with IMO.
	Regulatory Information by Air	Complied with ICAO/IATA.
国内規制	陸上規制	消防法の規定に従う。
	海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
	航空規制情報	航空法の規定に従う。
15. 適用法令		

労働安全衛生法	非該当
化学物質審査規制法	非該当
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
廃棄物処理法	非該当
消防法	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当

16. その他の情報

連絡先
参考文献

株式会社ニチレイバイオサイエンス

NITE GHS 分類公表データ

EU CLP Regulation, Annex VI

RTECS

ECHA C&L Inventory Database

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。